

教科	社会	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二度の世界大戦と日本	14	二つの大戦の背景とその影響の動きを捉えるとともに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 近代(後半)の日本と世界を大観し、近代社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。	それぞれの大戦の原因・経過・結果について、正しい知識を得ると共に、その中での民衆の生活がしっかり理解できている。	資料などから、適切な情報を読み取り、「第二次世界大戦中のヨーロッパ」「太平洋戦争」を用いて、戦争の拡大の様子を読み取っている。	二つの大戦について主体的に学び、戦争の名の下に行われた行為について関心を持ち、平和を希求する態度を持っている。
現代の日本と世界	11	高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きの概要を、国民の生活と関連させて理解させる。 国際社会における日本の役割や、地域社会における個人の取り組みなどに関心を持たせるとともに、将来の社会に期待をいだかせ、社会の一員としての自覚を深めさせる。	民主化政策や憲法制定などの動きについて理解し、その知識を身につけている。 国内外の動きや国際社会における日本の役割を理解し、その知識を身につけている。	現代社会の発展だけでなく、問題点についても公正に判断し、自分の意見を述べている。	地球市民として、世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つようとしている。 戦後の日本の歩みについて関心を持ち、当時を知る人々から当時の状況を聞こうとする態度が身につけている。
現代社会と私たち	15	現代社会の特色として、少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 教科書の資料や自分の体験などをもとに、多面的・多角的な視点で現代日本の特色やグローバル化、情報化について考察し、表現させる。	現代社会の特色を捉えたうえで、現代社会の見方・考え方の基礎の枠組みを理解している。	資料の読み取りから現代社会の特色について考察し、それらの特色が現在と未来に与える影響について、多面的・多角的に考え、表現することができる。	持続可能な社会の実現に向けて私たちに何ができるのかを考え、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に現代社会に社会に関わろうとしている。
個人の尊重と日本国憲法	20	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深めるとともに、日本国憲法が何を基本的原則としていることについて理解させる。 日本国憲法において、人権保障が大切にされている理由について考察し、表現させる。	日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を原則としていることについて理解している。 国際社会にはどのような人権上の課題があるかを理解する。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重を法の支配などに着目して、対話的な活動を行い、人権について多角的・多面的な視点で考察することができる。	日本国憲法が保障する権利を守るために私たちはどのように社会に関わるべきか、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。

現代の民主政治と社会	28	国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させる。 民主政治と政治参加について、自らの生活に結び付け、現代社会に見られる課題の視野に主体的に社会に関わろうとしている。	国会や議会制民主主義の意義、選挙が果たす役割について、理解している。 地方自治の基本的な考え方について理解し、地方公共団体の政治の仕組みや住民の権利について理解している。	裁判員制度について知り、自らにも起こり得ることと捉え、実践的な活動では資料を的確に読み取って、必要な情報を精査し、争点の整理を行い、公正に判断することができる。	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向け、主体的に考察し、政治に参加しようとしている。 ロールプレイングでは、率先して活動に参加し、主体的に社会に関わろうとしている。
私たちの暮らしと経済	26	身近な消費生活を中心に建材活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解させる。 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。	消費生活と経済との関わりに気づき、現代の様々な経済活動の働きや仕組みについて理解している。 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、対話的な活動を行い、多角的・多面的な視点で現代の様々な経済活動について考察し、表現することができる。	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
地球社会と私たち	20	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から国家間の相互の主権の尊重と協力、また国際機構などの役割が大切であると理解させる。 現代社会に見られる課題の解決を考察するとともに視野に主体的に社会に関わろうとしている。	広い視野に立って、世界には、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの多くの課題があり、その解決のために国際的な相互扶助や国際組織の役割が大切であると理解している。	日本国憲法の平和主義を基に、世界の中での我が国の役割について多角的・多面的に考察し、構想し、他者と意見を交わしている。	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、自分たちにはどのようなことが出来るのか、自らの学習から考え、主体的に取り組もうとしている。
よりよい社会を目指して	6	これまでの学習を振り返りながら、現代社会の課題に対し、考えさせる。 持続可能な社会の実現のために、社会の課題と向き合い、調べたり、まとめたりし、レポートを作成する。	持続可能な社会を実現するための解決すべき社会の課題には、どのようなものがあるかを確認し、理解する。	これまでの学習を振り返り、社会科の探求課題を設定し、社会的な見方・考え方を働かせ、資料を参考にしながらレポートを作成している。	私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら、粘りよく取り組もうとしている。